

令和2年第4回伊奈町議会（定例会）

一般質問一覧表

発言順	質問議員	質問事項	質問要旨
1	永末厚二 一問一答方式	1 伊奈町の今後について	1 今後の人口問題をどう考えているか。
			2 人口5万人になれば市に移行できる要件の1つは満たすが、その他の要件はどうか。また、市に移行することを目指しているか。
			3 歳入増の対策はどこに重点を置くのか。
			4 都市開発と都市計画税への町の考え方は。
			5 クラウドファンディング型ふるさと納税の導入をしてはどうか。
			6 まちづくり基本条例の策定を。
		2 災害に強いまちづくりについて	1 町長の2期目の所信表明の災害に強いまちづくりでは、ハード面での対策をどう考えているのか。
			2 避難スイッチを入れる情報が不足しているのでは。
			3 現在のハザードマップにはない水害に対する、内水氾濫の浸水想定ハザードマップを至急作成すべきではないか。
			4 過去の浸水経歴の原因究明を徹底的に行いその解決策を策定し、内水浸水対策ロードマップを作っては。
		3 町内循環バスいなまるについて	1 2台体制になったの乗降客の数や町民の反応を含めた運用状況は。
			2 2時間に1回でも良い「反対周りを」の声に応えるためのコストや問題点と町の見解は。
			3 「もう1時間始発が早かったら」の声にどう応えるか。
			4 車いす利用の停留所を限定しているが、その理由は。
2	藤原義春 一問一答方式	1 新型コロナウイルスと共生する時代をどう乗り切るか	1 今後、イベントをどのように開催させていくか。
			2 オンライン授業や端末の一人一台体制等、今までの教育とどう両立させるのか。
			3 町内中小企業への生き残り支援はどうするのか。
			4 役場業務の一部をテレワークに移行していくべきでは。
		2 子どもの貧困対策について	1 子どもの貧困の現状は。
			2 どのような対策を取っているか。
			3 町民の要望に応える子ども食堂の体制をつくれるか。
		3 高校受験の変化への対応について	1 中学校は、公立及び私立の高校受験の変化に、機敏かつ柔軟に対応できているのか。

3	大沢 淳 一問一答 方式	1 新型コロナウイルスから町民のくらしと営業を守る	1 これまでの町民支援事業の執行状況と課題、成果。
			2 3月以降の生活保護の相談、申請、開始状況と例年との比較。
			3 保育、教育現場において。 ① 国に少人数学級実現に向け要望を。 ② 少人数学級を実施した場合の教室の確保。 ③ ギガスクール構想の課題と可能性。 ④ 職員と子どものマスク着用は心理的・教育的影響等に配慮すること。 ⑤ 臨時休校をきっかけに、もしくは感染を懸念して不登校になった例は。
		2 町村議会議員選挙の選挙公営に係る公職選挙法の一部改正を受けて	1 町議会議員選挙で選挙公営実施のための条例制定を。
		3 来庁者のプライバシー保護のために	1 窓口カウンターでの相談者、申請者のプライバシーを保護するための配慮、対策を。
		4 手話言語条例をい かして	1 施策を実行する際には地元のろう者や手話サークルに相談を。
			2 電話リレーサービス実施にあたっての地方公共団体の責務。
			3 聴覚障害者のための救急通報制度。 ① F A X 1 1 9 の通報用紙を上尾市と伊奈町で共通の様式に。 ② N e t 1 1 9 により病院に搬送されたろう者、医師の手話通訳者の確保。
			4 手話通訳派遣事業の現状と課題。 ① 過去3年間の聴覚障害者の人数、等級別と手話通訳派遣事業の利用人数、件数。 ② 上尾市に手話通訳派遣を委託するにあたっての課題は。 ③ 町での手話通訳派遣制度の可能性はあるのか。
			5 手話講習会を上尾市に委託すること。
			6 役場庁舎に手話通訳者の設置を。
			7 町長の動画配信には手話通訳者を配置すること。
		5 障害者の健康増進や創作的活動の機会確保のために	1 上尾市の「ふれあいハウス」の取り組みを伊奈町でも。
4	武藤倫雄 一問一答 方式	1 幼児死亡事件検証委員会の結果について	1 実際に組織された検証委員会の構成は。
			2 検証及び再発防止策の策定はどのような手順と進め方であったか。
			3 検証結果の概要は。
			4 再発防止策は。
			5 児童相談所及び警察との情報共有は今後どのようなになるか。

4	武藤倫雄	1 幼児死亡事件検証委員会の結果について	6 虐待を行う側への対応策は。
			7 再発防止のために期待される町民、地域社会の役割は。
5	山野智彦 一問一答方式	2 志久駅エレベーター設置について	1 設置のために必要な調査及び検討を始めるべきだと思うがどうか。
		1 公共施設及びインフラ整備の今後40～50年の財政見通しと対策	1 今後40～50年間で、町の公共施設及びインフラ資産の更新・維持に必要なトータルの必要額、不足額の見通しは。
			2 財源不足対策として、各施設における長寿命化と維持管理コスト削減を掲げているが、他に考えられる解決方法は。
			3 責任ある公共施設及びインフラ設備の確保のためには、個別計画の取りまとめ以外に全体の改革案の検討と試算を行い、今後の方針の根拠とするべきではないか。
		2 庁舎建替え計画の状況と複合化庁舎建設による町中央部の振興	1 庁舎建替え計画の進捗状況と今後の予定は。
			2 新庁舎は総合センターも含めた大胆な複合化を行い、町中央部に人の集まる拠点をつくることで長期の振興策を。
			3 前項目の実現可能性を客観的に把握できるよう、町の市場可能性を調査すべきと考えるがご見解を。
		3 コロナ禍からの経済回復に向けた自助努力への支援策を	1 自助努力の原点に返り、努力してスキルアップや技能・能力向上を図る町民のために伊奈町版「教育訓練給付制度」創設を。
			2 町版では、国よりも広く個人にも対象を広げ、就業支援・起業支援にもつながる制度に。
		4 マイナンバー制度の情報漏洩の危険性と問題点	1 全国でマイナンバー制度の情報漏洩等が多発しているが、危険性は認識されているか。
			2 伊奈町において、これまでにマイナンバー関係の情報漏洩等の発生の有無。あればその内容。
			3 会計検査院報告書にあるマイナンバー情報セキュリティの脆弱性について、どのように認識されているか。町におけるマイナンバー制度に関する情報セキュリティ対策の内容は。
			4 マイナンバーが将来的に、住民の資産課税（預貯金への課税）や健康情報を含む住民情報の一元管理に向かう懸念について町としての見解は。
			5 マイナンバーの情報漏洩リスクに関して、町として住民に十分その危険性を周知して、暮らしの安心安全・犯罪防止等を図るべきではないか。
6	大野興一 一問一答方式	1 伊奈町の新型コロナウイルス感染者数の推移と分析について	1 11人（8月13日現在）の感染者について町として状況を把握し、分析して対応を考えていくべきだと思うが、今までの町の対応を問う。
		2 新型コロナウイルスの感染症対策の教訓から防災計画の見直しについて	1 感染症予防対策本部と防災との整合性について。 ① 感染症予防対策本部の役割。 ② 防災計画上の位置づけは。 ③ 避難所の今後の在り方、見直しは。

6	大野興一	3 新型コロナウイルスの感染症対策の教訓から庁舎建設の見直しは行われるのか	1 新型コロナウイルスでサテライト方式を取った効果は。
			2 オンラインが進めば中央集中式の庁舎よりは分散型の方が有効と思うが。
			3 南、北、中央の分散型にしてはどうか。
		4 新型コロナウイルス感染症の蔓延の中で農業経営への影響と今後の施策について	1 農産物の流通や販売に新型コロナウイルスの影響はあったか。
			2 農業経営に被害が出た場合に持続化給付金の申請は出来るのか。申請は出されているのか。
			3 埼玉県には種子条例があり、主要農産物の種子は守られているが、他の農産物の種子についてはどうなっているか。 ① 例えばノラボウ菜の種についてはどうか。 ② 遺伝子組み換えの種子など輸入されていないか。
			4 種苗法の改正案が国会に提案されているが、日本の伝統的な農業を守るためにも、有機農業促進のためにも自家増殖は必要と思うが、見解を問う。
		5 新型コロナウイルスが学校教育に与えた影響について	1 臨時に教育指導員の配置がなされたが、どのように活用されているか。どのように活用するのか。
			2 埼玉県は教員定数に占める臨時教員の割合が10.9%といわれるが、伊奈町はどうか。正規教員を増やす考えはあるか。
			3 感染症の蔓延などで保健室の仕事が増えているが、今の体制で充分であるか。
7	戸張光枝 一問一答方式	1 性的少数者に関する取り組み推進で、パートナーシップ認証制度導入を	1 教育現場での現状と課題、具体的な取り組みは。
			2 公共サービスにおける現状と課題は。
			3 実行可能となる施策は。
			4 パートナーシップ認証制度導入時期は。
		2 アピアランスケアによる生活の質の向上に向けた施策を	1 現状取り組んでいることは。
			2 アピアランスケアを導入している自治体の取り組み状況の認識と見解は。
			3 後遺症で悩む方への寄り添いとして、今後考えうる施策は。
			4 がん治療等で脱毛された方に医療用ウィッグの購入費補助制度の導入は。
		3 成果報酬型の健康増進プログラム導入で10歳若返り	1 糖尿病性腎症による患者数の推移は。（過去5年）
			2 公費負担金の推移は。（過去5年）
			3 町としての具体的な取り組みと実績は。
			4 成果報酬型の健康増進プログラム導入を。
8	栗原恵子 一問一答方式	1 特別養護老人ホーム等の介護職員不足と新型コロナウイルス集団感染への対応について	1 伊奈町における介護職員不足の現状は。また、町として介護職員確保にどう取り組んでいるか。
			2 特別養護老人ホーム等で新型コロナウイルスの集団感染クラスターが発生した場合の町の支援や対応は。
			3 集団感染クラスターが発生した場合、施設同士で支え合う応援職員を派遣する仕組み作りを整備したらどうか。

8	栗原恵子	2 伊奈町クリーンセンターの長寿命化について	1 広域ごみ処理施設の建設までに年数を要するが、その間、年度内に策定する長寿命化総合計画と合わせて、2021年度以降の方針や基幹的設備改良工事の見通しは。
			2 民間ならではの発想・ノウハウや民間資金を最大限に活用できるPPPやPFI制度を採用して、伊奈町クリーンセンター長寿命化に着手する考えは。
		3 新ごみ処理施設（上尾・伊奈広域ごみ処理施設）が生み出す電力について	1 未来に向けて、上尾・伊奈広域ごみ処理施設を利用し、今後ごみ発電を導入するための調査に取り組むべきだと思うが、町の考えは。
9	上野尚徳 一問一答方式	1 新型コロナの影響による虐待やDVの現状と対応は	1 「緊急事態宣言」発令から現在までの相談件数と内容は。
			2 子どもに対する虐待の現状を把握できているか。
			3 相談できない状況の被害者の声を聴くための対策は。
			4 被害にあっている人への相談や支援、保護等に関する情報発信は強化されているか。
			5 虐待やDV被害に対するこれまでの対応は。
			6 今後、取り組もうと考えている実効性のある対策はあるか。
		2 役場庁舎・建設等計画の進捗状況は	1 新型コロナウイルスの影響を受け、計画方針に変更はないか。
			2 基本構想、基本計画は誰が策定するのか。
			3 基本構想等の策定に向けた進捗状況は。
			4 庁舎建設に関するスケジュールに変更はないか。
		3 「情報流出」阻止への取り組みは	1 パソコン環境（ネットワーク含む）に関する「情報流出」阻止への取り組みは。
			2 ハードディスク、USB、SDカード、DVD等の記録媒体に関する「情報流出」阻止への取り組みは。
			3 パソコン、記憶媒体以外に関する「情報流出」阻止への取り組みは。
			4 廃棄するパソコンやハードディスク、USB等のデータの初期化、削除方法は。また、その手法で行えば復元されないか。
			5 パソコン等の最終的な廃棄方法は。
			6 これまでに情報が流出してしまったことはないのか。
			7 「情報流出」阻止へ向けての今後の取り組みは。
10	五味雅美 一問一答方式	1 新型コロナウイルスのPCR検査の実施を	1 感染拡大防止を目的としたPCR検査の実施を求める声が、多くの知事や自治体などから上がり、取り組みも始まっている。町として医療機関や介護・福祉施設など感染を広げるリスクのある職種を対象に、PCR検査を実施すべきだが、どのように考えているか。

10	五味雅美	2 休校による学習の遅れの回復、学びの保証は	1 3か月にわたる休校で、学習の遅れはどのようなになったのか。
			2 遅れの回復は、現場の創意工夫を尊重して、詰込みにならないようにすべきだが、どのように解消するのか。
			3 学校行事の変更においては、子どもたちの声を聴きながら進められているのか。
		3 介護事業所への支援を	1 コロナ禍で、伊奈町の介護保険の通所サービス、短期入所サービスの利用状況はどうなっているのか。
			2 介護事業所の減収対策として、厚生労働省が利用を超える報酬を認める「特例措置」を通知したが、町の事業者の実施状況はどのようなになっているのか。
			3 「特例措置」は、利用者に利用を超える負担を負わせるものだが、利用者の理解は得られているのか。限度超過の問題や不公平感など、どのようなになっているのか。
			4 事業者の減収対策は、国が責任をもって補償すべきものだが、どのように考えているのか。
		4 ポストコロナは人のケアに手厚い社会に	1 コロナ禍は、大企業の利益優先と市場原理、効率優先で雇用や暮らしや命を守る様々な規制を緩和し、社会保障削減と自己責任の押し付けで「小さい政府」を目指し、病院や保健所を減らしてきた社会の脆弱さがあらわになった。ポストコロナはその反省のうえに、人へのケアに手厚い、余裕をもった、危機に対応できる社会に変える機会とすべきだが、町長の考えは。
		5 市街化調整区域の開発について	1 町の市街化調整区域と、その開発について、どのような状況になっているのか。
			2 市街化調整区域の開発のルールは、どのようなになっているのか。
			3 農地が虫食い状態になる懸念があるが、町としてはどのように考えているのか。
11	上野克也 一問一答方式	1 「新しい生活様式」に向けた諸施策の具体化について	デジタル化の果実を伊奈町に大胆に取り入れるとともに、オンライン、テレワーク、ワーケーション、働き方改革や移住、企業や学校の休日を見直し、分散化を図ることによって、魅力ある町づくりと質の高い地域社会を築くために。
			1 教育分野において「3密」を防ぎながら、切れ目のない学習環境について。 ① ソフト面およびオンライン授業支援の今後のスケジュールは。 ② 障がい者や不登校児、外国籍児など特別な支援が必要な子どもへの支援は。
			2 文化芸術、図書館、公共の施設など、人が集まる空間の「密」を可視化するオンライン情報やアプリなどの活用について。 ① 予約システムの確立やプッシュ型情報発信の導入は。 ② 文化芸術・スポーツの活動継続に向けた支援は。
			3 「新しい生活様式」に対応するオンラインツールの活用について。 ① 介護や福祉分野では、ロボット技術やICT等の導入を用いたケアモデルの支援、個人の健康データの利活用の推進などを図り、健康寿命の延伸につなげるべき課題にどう取り組むのか。

11	上野克也	1 「新しい生活様式」に向けた諸施策の具体化について	4 デジタルトランスフォーメーションによって地域の価値を高めるため、移住や企業誘致などを促進するには。 ① 医療や住まい、交通などがアクセスしやすいサービスを地域限定で整えては。（例 “いなまる” と “ぐるっとくん” の交互乗り入れなどは） ② 空き家を利活用したワーキングスペースの整備や住宅の整備をしては。
			5 「新たな日常」の構築に向け、さまざまな生活現場で感染拡大を防ぐ取り組みが必要と考えます。生活上のリスクを下げるための取り組みの推進について。 ① 多くの人が集まる場所の水道やトイレ、ゴミ箱等、手を触れずに済ませることができる自動化の推進や工夫は。
		2 コロナ禍における避難所運営の在り方について	近年、大規模地震や大規模水害など、想定を超える自然災害が頻発化、日常化しています。
			1 「新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針」5つの基本方針の具体的進捗および町指定13避難所以外の開設や運営は。
			2 分散避難について。
			3 避難所の感染症対策に女性の視点を生かした避難所の運営について。
12	高橋まゆみ 一問一答方式	1 町制施行後の人口動態から見る町の発展と未来について	1 人口増加の主な要因は。
			2 将来人口の町独自推計の根拠は。
			3 生産年齢人口の減少を抑えるための対策は。
			4 若者の定住促進のために中学生や高校生に人口問題の周知を。
		2 今後の行財政運営の検討について	1 新型コロナウイルス感染症の影響により次年度以降の収入減が予想される。自主財源を増やすための施策は。
			2 財政と職員の疲弊を生む一過性のイベントを見直すべきでは。
			3 5千人を超える敬老事業は福祉課職員と財源の限界。開催形態と記念品の見直しを。
			4 敬老祝い金を廃止または見直し、地域で安心して暮らせる持続可能な事業へ変換してはどうか。
			5 耐震基準を満たさない危険な役場庁舎の建替えと、町内道路等の冠水対策を迅速に。
		3 成人式について	1 帰省参加する新成人のために日曜日開催にしてはどうか。
			2 一生に一度の式典であり今後の伊奈町を支える若者に成人式参加記念品を贈呈してはどうか。
		4 町内企業就業促進について	1 町内在住の学生向けに、町内企業就職説明会の開催を。

13	佐藤弘一 一問一答方式	1 新型コロナウイルス感染症に対する支援策（給付金等）について	1 1500万円の予算で、1件15万円の上限の保証料、利子補給の検証はしているのか。件数と金額は。
			2 1100万円の予算のうちdeグルメの検証は。予算執行の金額と内容は。
			3 7500万円の予算で、1件5万円の中小企業への給付金の検証はしているか。件数と金額は。
		2 コロナ禍における経済状況について	1 町内の事業所の経済状況（倒産、廃業）をどのように把握しているか。今後、どのように見込んでいるか。
14	青木久男 一問一答方式	1 D I C 埼玉工場火災から1年	1 火災原因は不明とのことだが、調査の詳細を伺う。
			2 火災現場の現況と環境汚染の状況。
			3 工場内倉庫に保管してある危険物。
			4 再発防止の取り組みはどうか。
		2 幅広い防災対策の検討について	1 コロナ禍における「新しい生活様式」に対応した避難所運営マニュアルおよび水害対応に特化した同マニュアルが必要と考えるがどうか。
			2 新型コロナ等の疫病に対応できる防災備蓄の拡充を。
		3 新型コロナウイルス感染症に関する臨時交付金対応事業等（1次分）について	1 特別定額給付金は別として第一次分での特筆事業は何か。 2 次の諸事業の結果又は進捗状況を伺う。 ① 町税等の徴収猶予の特例。 ② 特別定額給付金と子育て世帯への臨時特別給付金。 ③ がんばれ！伊奈の事業者応援大作戦。 ④ 「おうちdeグルメ」キャンペーンと新型コロナ対策保証料支援。 ⑤ 新型コロナウイルス感染症傷病手当金支給事業。 ⑥ ひとり親家庭生活応援事業及び小中学校児童生徒に図書カード配付。